

令和7年4月定例記者会見要旨

開催時間 令和7年4月25日（金）午前10時30分 302会議室

（総務部長）皆さんこんにちは。定刻になりましたので4月の定例記者会見を始めます。よろしくお願いします。

（市長）皆さんこんにちは。記者クラブの皆さんも4月、年度がスタートいたしまして、新たに人事異動をされた皆さんもいらっしゃいます。ようこそ、諏訪湖記者クラブさんにお越しくださいました。

また、新年度、諏訪市も、副市長、教育長ともに、新しい任期がスタートいたしました。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

連休が終わりますと、本格的にいろんな行事がスタートしてまいります。

5月に向けてということではありますが、お手元に配布いたしました資料を元に行事等の説明をしてまいります。

6月22日に文化センター緞帳、特別公開を行います。緞帳につきましては、一部タペストリーとして残しますが、そのままの大きさを維持することは断念をいたしまして、この機会が生の二枚の緞帳を見ていただく最後ということになります。

（4月日程説明等）

○文化センター緞帳特別公開

・緞帳一般公開

6月22日（日）ホール特別開放（舞台、ホワイエ含む）

前半10：00～13：00（緞帳 杉山寧「昇る陽」）

後半13：00～16：00（緞帳 東山魁夷「清暁」）

緞帳・ホールの解説13：00～13：30（30分程度）

北澤会館竣工当時の写真等展示（ホワイエ） 10：00～16：00

竣工記念式典の写真や記念品（パンフレット、風呂敷）を特別展示

・緞帳やホールへのメッセージ

期間中の来場者にカードに緞帳やホールの思い出等を書いてもらい、パネルに掲示

期間：4月29日（火、祝）～6月22日（日）

○第3回諏訪市20歳の集い 文化センター

新成人を迎えられる18歳のみなさまに、お祝いとして本をプレゼントする

対象者：平成19年4月2日～平成20年4月1日に生まれた、市内在住者と諏訪市出身者

申込：市内在住の対象者に案内を5月に送付。案内やパンフレット、HPなどから好きな本を1冊選び、ながの電子申請サービスから申し込む。

申込期間は、5月1日（木）～10月31日（金）プレゼント本は、6月より随時発送予定

○すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト【ゆめプロ】」

令和7年5月17日（土）キックオフ・イベント すわっチャオ
第3期生メンバー

- ・プロジェクトメンバー 市内小中学生15名 募集中
- ・高校生サポーター（伴走者） 若干名 募集中
（市内高校 諏訪清陵、諏訪二葉、諏訪実業高校）
- ・大学生サポーター（伴走者） 若干名 募集中
（公立諏訪東京理科大学 学生有志サークル「チノリカ」のメンバー）
- ・活動内容（全15回予定）
- ・テーマを解決するための道筋や方法を協働して学ぶ。
- ・諏訪湖や霧ヶ峰、諏訪地域の企業等でフィールドワークを行なう。（ヒシ刈取り、外来植物についての説明や企業のSDGsの取り組み等の説明等）
- ・11月には市長や教育長に提言し、意見交換を実施。
- ・活動期間5月～11月、月に1～3回（原則土曜日13：30～16：00）合計15回予定

○令和7年度 諏訪市 水防訓練

諏訪市消防団 副分団長会

日時：令和7年5月18日（日）午前8時30分～午前11時40分

会場：諏訪湖イベント広場 屋外 雨天 決行

訓練内容：ゴムボート展示・改良 積み土嚢 工法 part・シート張り工法・ロープワーク（胴もやい、巻き結び等）排水ポンプ・土嚢作成

○第102回上水道記念式

日時：令和7年5月24日（土）午前10時30分～ 会場：茶臼山配水池

○第56回高島城祭

日 時：令和7年5月25日（日） 場所：高島公園

開会式典：午前9時00分～午前9時30分

協賛行事：午前9時00分～午後3時30分

催 物：午前10時00分～午後2時30分

○伊東市との姉妹都市提携60周年記念事業（市民交流宿泊割事業）

多くの市民が伊東市を訪れ、その魅力を再発見していただくとともに、更なる交流を深めていただくため、伊東市内の宿泊施設を利用した際の宿泊料金（一人一泊分に限る。）の一部を助成します（伊東市も同様の事業を実施します。）。

- ・利用できる方：諏訪市民（宿泊日時点で住民基本台帳に記録されている方）
- ・助成金額（一人当たり）：大人（中学生以上）5,000円：小人（3歳以上中学生未満）2,500円

・利用期間：令和7年5月20日（火）～令和8年3月31日（火）までの宿泊※利用期間中であっても予算額に達し次第終了とします。

・利用方法：利用申込み…助成対象施設をご確認の上、電話やインターネットで宿泊施設に直接ご予約いただき、その際「宿泊割」を利用する旨をご連絡ください。

・承諾書の提出…チェックイン時にあらかじめ必要事項を記入した承諾書※を提出し、助成を受ける方全員の住所及び生年月日が確認できるもの（運転免許証、マイナンバーカード等）をご提示ください。

※承諾書は、市のホームページからダウンロードできます。

・宿泊料金の精算…チェックアウト時に宿泊料金から助成金額を差し引いた料金を支払ってください（現地決済に限る。）。

○子どもたちの相互交流バスツアー（伊東市との姉妹都市提携60周年記念事業）
諏訪市在住の親子によるバスツアーを企画し、夏の伊東市を訪れるとともに、冬は伊東市の子どもたちを受け入れることにより、子ども同士の交流や現地での様々な体験をとおして両市の将来を担う子どもたちが姉妹都市に対する理解と友好を深めます。

・日程：令和7年8月9日（土）・10日（日） 1泊2日

・内容：市内観光（磯遊び等）、伊東市の小学生との交流、按針祭への参加など

・対象：諏訪市内在住の子どもが小学生の親子

・募集人数：10組20名（親子1組2名）

・募集期間：令和7年5月1日（木）～5月16日（金）

・応募方法：ながの電子申請からお申込みください。

※応募多数の場合は抽選とします。

・参加費等：往復の交通費、現地でのアクティビティ体験料及び宿泊費の一部（市民交流宿泊割分）のみ公費負担とし、それ以外の宿泊費及び飲食費などは参加者の自己負担とします。

・その他：令和8年2月に実施予定の交流事業（伊東市の子どもたちの受入れ）にご参加いただくことを条件とします。

（総務部長）それではこちらの説明以上となります。
ここからは、記者クラブさんの方にマイクを移したいと思います。

記者との質疑応答

4月末で市長就任の3期目の丸2年が終わって折り返しということで、市長就任も10年になります。3期目の半分を過ぎ、振り返ってみていかがでしょうか。

(市長)

令和7年度の予算を編成する当初から、節目という意識をしておりました。10年の中には、本当に初めてこの諏訪市役所の庁舎に登庁をして、一期目のマニフェストを掲げながら諏訪市に私が関わりたい項目を、市民の皆さんに知ってもらうのはもちろん、職員にも、理解をしていただきながら一緒に取り組んでいくということで、始まった市政でございました。初年度はルーティンを学ぶ大事な期間でもありまして、その当時、秘書係にいてくれた課長補佐が、今隣にいる後藤副市長ということになります。そして、その翌年2年目の当初に御柱祭があり、そういう意味では早めにいろんなことを経験しながら、意識してきたのはマニフェスト、それから、それをもとに作成をいたしました様々な計画、それは学校のゆめスクールプランであったり、都市計画のマスタープラン、立地適正化計画です。そうした計画性をもった取組が今に繋がってきております。あらゆる計画が同時並行で動きますので、それを総括する総合計画、これも今、第6次の計画が動いておりますが、これはマニフェスト2期目3期目も含めまして、リンクをしています。そして、今、庁内の部長以下職員は、そうしたことを意識しながらこの目標に向かってこの行政が動いています。そして市民にもそれを理解していただいています。そういった考え方が整ってきたという印象を持っています。そうした意識の中で、10年あるいは3期一区切りということも言われる中で、成果を目に見えるように上げていくために、令和7年度の予算も、そうしたタイトルをつけています。諏訪市が魅力あるまた21世紀、あるいはさらに将来を見据えた中で、必要なこと、今やらなければならないことは、すでに未来に向かって夢を描いて進んでいくという思いも継続して持っていますので、引き続き皆さんのお力を借りながら、このプロジェクトや計画を前に進めていきたいと思っています。

(記者)

3期目の残る2年間で取り組むべき課題というのはどのように認識していますか。

(市長)

一言で申し上げることはできませんが、集約をしてわかりやすく包括的にお話しするとすれば、コンパクトシティの実現、これが基軸になってると私は思います。もちろんそれをなぜ入れてきたかという、子ども施策は、少子化対策として、少子高齢化、これは高齢者対策、人口減少、こうしたことに課題が関連してきます。これを見据えた中でコンパクトシティという提案をしていますし、福祉の充実ですとか、教育の充実ですとか、あらゆることに関係していきます。ハード的な側面というと、文化センターですとか、駅などに目が行きがちですが、これを一言で言うと、コンパクトシティの実現と言っている意味は、そうした周辺の、今置かれてる我々の状況を含めるととらえていただいたらいいかなと思います。

(記者)

文化センターの緞帳に文化的な特徴、価値があると、認識を示されてるわけですがそういう一方で今度は切って、タペストリーにすると。

日本画家の3人の文化勲章、このセットで、その価値があるというアピールを市としてされたわけです。市民の説明会においてもこの緞帳を残してくれという声があった。

その文化的な価値のある緞帳を切ることと、その心理的な成立をどうされてるのにかちょっとお伺いしたいと思います。

(市長)

この緞帳をすごく大事にして残して欲しいと言った筆頭は私です。

その思いを強く持ってます。それは今、おっしゃられた通りのことです。ですから、何とかこの緞帳を残せないか。日本においても、台形というか三面をカバーする形の緞帳というのは、珍しく、大きさも最大級です。それで何とか残せないかということで、担当課と何度やりとりをしました。

しかし、60年が経過していて、織物ですが、大分汚れております。

そしてそれを取り外すときには、上手に取り外せないほどに、もろくなっています。しかも、クリーニングに出した時に、事業者の方が現状を保証できませんというお答えでした。物理的に織物がぼろぼろになってしまうかもしれませんし。それから取り外すときには、持ち出す時に折り畳んだりすることも難しく、専門家の皆さんを交えて、随分議論してもらいました。何とか残せないかと。私もお願いをしながら研究してもらったのですが、最終的には保証ができないということでした。そのため関係する市民の皆さん、思いを持っている皆さんとも話をする中で、その象徴となる一部はタペストリーとして残し、記録として、残す館内に掲示するという形で、名残りをとどめるということで決着をしました。私も、物理的に期限が来えることと理解をしまして、納得をしたところです。それで、最後のお別れ会ということと理解をしまして、納得をしたところです。それで、最後のお別れ会というような企画を用意させていただいたものです。現物を見るのは最後のチャンスになりますので、多くの皆さんお越しください。

(記者)

文化センターの進捗状況を教えてください。

(市長)

現在6月まで、文化センターを活用いたしまして7月からは予約を受け付けておりません。従いまして7月から改修の作業に入ります。その事業に、補助をいただくことで、内定をいただいておりますので、今年度は予定どおり事業を進捗いたします。そして外構工事も含めまして、3年というタイムスケジュールの中で、改修を進め

ていくということになります。

（記者）

旅先ふるさと納税の旅先決済について、金子市長の期待をお伺いできればと思います。

（市長）

ふるさと納税制度は、いろんな課題を乗り越えながら今現状ではかなり広く浸透してきた制度になります。様々な企業の皆さんも参入をされて、工夫した仕組みが増えてまいりました。

その中の一つが、旅先納税としてスタートいたしました。寄附をしてくださろうというその思いがその「場所」で生まれることもあり、そうしたところを拾っていこうという試みです。そうしたアイディアだと思いますので、これも広く皆さんに知っていただいて活用されることを期待しています。様々な仕組みがございますが、そうしたチャンスをできるだけたくさんとらえて、諏訪市がいいなと思ってくださった方が、寄附という形で、応援をいただけるということを大いに期待しております。

（総務部長） どうもありがとうございました。クールビズを、本年も5月1日から行う予定ですので、よろしくお願いしたいと思います。以上をもちまして4月の定例記者会見を終了します。